地上デジタルチューナー
取扱説明書

DTF-H009

- このたびは地上デジタルチューナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつも手元に置いてご活用ください。

はじめに

本機の機能

- 本機は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのチューナーです。
- 地上デジタル放送を受信するには、お住まいの地域の地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。
- 本機で受信した地上デジタル放送の番組を視聴するには、映像・音声入力端子を備えたテレビまたはモニター受像機が必要です。
- 本機はデータ放送と双方向サービスには対応しておりません。
- テレビやモニターに表示される映像は、テレビやモニターの仕様にかかわらず標準画質となります。（ハイビジョン画質での視聴はできません）

付属品

- 本機には以下の付属品があります。お確かめください。

※ B-CASカードは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。

※ 本機の付属品を本機以外に使用しないでください。また、本機の付属品以外のものを本機に使用しないでください。

もくじ

安全上のご注意

取扱説明書(本書)には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠ 警告	"取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷*[1]を負うことが想定されること"を示します。
⚠ 注意	"取扱いを誤った場合、人が軽傷*[2]を負うことが想定されるか、または物的損害*[3]の発生が想定されること"を示します。

＊１：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊２：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	**"⃠"は、禁止(してはいけないこと)を示します。** 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	**"●"は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。** 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	**"△"は、注意を示します。** 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠警告

■ **煙が出ていたり、変なにおいがしたりするときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

指示

■ **映像や音声が出ないときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

指示

■ **内部に水や異物がはいったら、すぐにACアダプターをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

指示

■ **落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

指示

安全上のご注意 つづき

設置するとき

⚠警告

■ 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災・感電の原因となります。

水のかかる場所設置・使用禁止

■ 上に物を置かない

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

上載せ禁止

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

本機が落ちて、けがの原因となります。

禁止

⚠注意

■ 温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

禁止

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ 風通しの悪い場所に置かない

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 壁に押しつけないでください。
- 押入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

禁止

使用するとき

⚠警告

■ **修理・改造・分解をしない**

火災・感電の原因となります。
点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ **異物を入れない**

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

禁止

■ **雷が鳴りだしたら、本機やアンテナ線、および外部との接続コードに触れない**

感電の原因となります。

禁止

⚠注意

■ **移動する場合は、ACアダプター、アンテナ線、および外部との接続コードをはずす**

はずさないままで移動すると、ACアダプターのコードが傷ついて火災・感電の原因となったり、本機を落としてけがの原因となったりすることがあります。

指示

■ **リモコンに使用している乾電池は、**

- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない**
- **火や直射日光などの過激な熱にさらさない**
- **表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。

禁止

安全上のご注意 つづき

ACアダプターの取扱い

⚠ 警告

■ **ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに確実に差し込む**

- 交流100V以外で使用すると火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- ゆるんだコンセントは使わないでください。発熱によって火災の原因となります。

■ **ACアダプターのコードは、**

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり(熱器具に近づけるなど)しない**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

■ **定期的にACアダプターを抜いて点検し、差込プラグの刃や刃の取付面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する**

差込プラグ部分の絶縁低下によって火災の原因となります。
コンセントもきれいに清掃してください。

■ **通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置いたりしない**

火災の原因となります。

■ **ACアダプターは本機の付属品を使用する**

本機の付属品以外のACアダプターを使用すると、火災の原因となります。

■ **本機に付属のACアダプターを他の機器に使用しない**

本機以外の機器に使用すると火災の原因となります。

ACアダプターの取扱い つづき

⚠注意

■ ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

■ ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張って抜かない

コードを引っ張って抜くと、コードやACアダプターが破損し、火災・感電の原因となることがあります。
ACアダプター本体を持って抜いてください。(チューナー側はDCプラグを持って抜いてください)

禁止

■ 旅行などで長期間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く

万一故障したとき火災の原因となることがあります。
本体やリモコンの電源ボタンを押して電源を切った場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

指示

お手入れについて

⚠注意

■ お手入れのときはACアダプターをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。

指示

■ 水ぶきしない

本機内部に水がはいると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

ご使用上のお願い・お知らせ

取扱いについて

● 長時間使用していると本体やACアダプターが多少熱くなりますが、故障ではありません。
● 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動をあたえないでください。
● 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

お手入れについて

● 本体や操作パネル部分のよごれは、乾いたやわらかい布で軽くふき取ってください。ベンジンやシンナーは絶対に使用しないでください。変色したり塗装がはげたりする原因となります。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

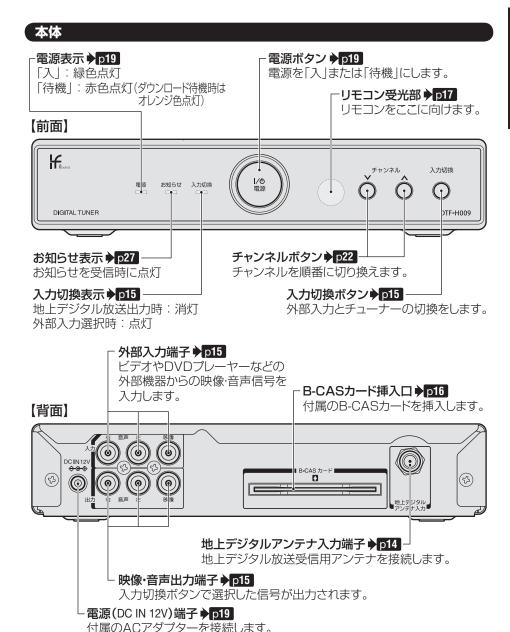
廃棄について

● 本製品を廃棄するときは地方自治体または地域の条例や規則に従ってください。
● 本製品廃棄の際のB-CASカードの取扱いについては、p16をご覧ください

免責事項について

● 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 取扱説明書（本書）の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

各部のなまえ

本体

※ご使用の際は、前面の保護シートをはがしてください。

各部のなまえ つづき

リモコン

リモコン発光部 ➡p17
本体の受光部に向けます。

入力切換ボタン ➡p15 ➡p26
外部入力とチューナーの切換をします。

数字ボタン ➡p22
選局や数字入力をします。

3桁入力ボタン ➡p22
3ケタ入力で選局をします。

カーソルボタン ∧∨<> ➡p28
メニューで項目を選択します。

メニューボタン ➡p27
メニューを表示させます。

映像切換ボタン ➡p26
複数の映像がある番組で映像を切り換えます。

音声切換ボタン ➡p26
複数の音声がある番組で音声を切り換えます。

画面表示ボタン ➡p24
チャンネル情報を表示させます。

画面サイズボタン ➡p23
画面モードを切り換えます。

電源ボタン ➡p19
電源「入」/「待機」の切換をします。

字幕ボタン ➡p26
字幕を表示させます。

決定ボタン ➡p27
選択内容を決定します。

戻るボタン ➡p24
前の表示に戻ります。

テレビ操作ボタン ➡p18
テレビの基本操作ができます。

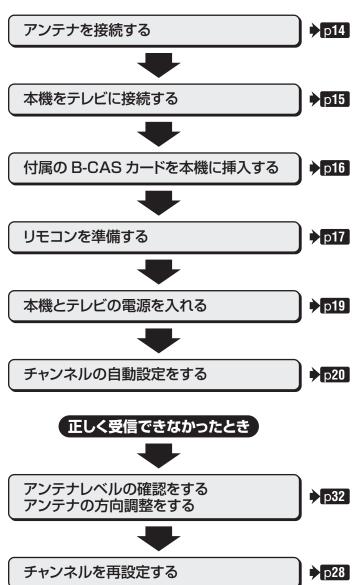
CHリストボタン ➡p22
チャンネルリスト画面を表示させます。
※1秒以上押し続ければ、チャンネルリスト情報の一括取得ができます。

CH ∧∨ ボタン ➡p22
チャンネルを順に切り換えます。

番組表ボタン ➡p25
番組表を表示させます。

番組説明ボタン ➡p25
番組情報を表示させます。

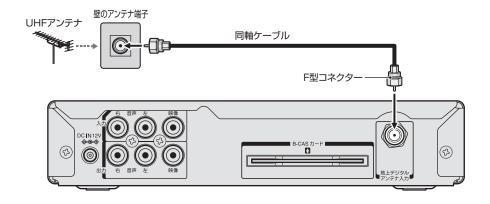
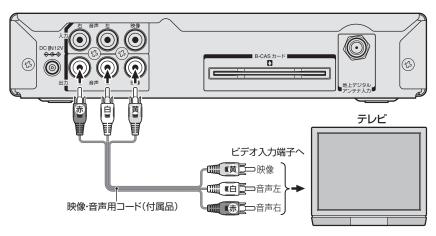
地上デジタル放送を受信できるまでの手順

● 以下の手順に従って、地上デジタル放送を受信するための準備をしてください。

アンテナの設置と接続

アンテナの設置について

● お住まいの地域で地上デジタル放送を視聴できるかどうかは、お近くの電気店または「総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」(TEL. 0570-07-0101)にご相談ください。(放送エリア内でも、ビルなどの障害物がある場合は視聴できないことがあります)
● 地上デジタル放送を受信するには、お住まいの地域での地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。すでに設置されているUHFアンテナで地上デジタル放送を受信できる場合もありますが、アンテナの方向調整や交換およびブースターの設置などが必要になる場合もあります。
※ **アンテナの方向調整や交換などの工事には技術と経験が必要です。また、高所での作業には危険も伴いますので、アンテナ工事が必要な場合にはお買い上げの販売店またはお近くの電気店などにご相談ください。**
● アンテナ、接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)、混合器、分配器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、設置条件、使用環境条件などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

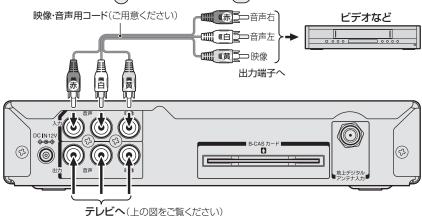
アンテナを接続する

● 接続が終わるまで、ACアダプターは接続しないでください。
● 本機の地上デジタルアンテナ入力端子にアンテナ線を接続します。
● 同軸ケーブル(アンテナ線)のF型コネクターがねじ式の場合は、ゆるまない程度に手で締めつけてください。締めつけすぎると本機内部が破損するおそれがあります。[最大締付トルク:1N-m(11kgf・cm)]
● 接続の前に、F型コネクターの芯線が曲がっていないことをご確認ください。曲がったままで接続するとショートや破損の原因となります。接続した状態でアンテナレベル(p32)が低いときは、一度コネクターをはずしてコネクタの芯線の曲がりのないことを確認してください。

本機をテレビに接続する

お願い

- 本機を接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、ACアダプターや電源プラグをコンセントから抜いてください。

外部入力端子を使うとき

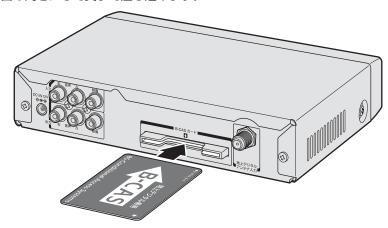
- テレビのビデオ入力端子が1系統だけで、すでにビデオなどが接続されているような場合は、ビデオなどを本機の外部入力端子に接続します。

※ ビデオなどの再生映像を視聴するか、または本機で受信した地上デジタル放送を視聴するかは、本体前面の（入力切換）またはリモコンの（入力切換）で切り換えます。

お知らせ

- 電源を入れ直すと、本機で受信した地上デジタル放送がテレビに出力されます。
- 本機の電源が「入」以外のときは、ビデオなどの映像・音声がテレビに出力されます。

B-CASカードを本機に挿入する

B-CASカードの挿入のしかた

● 図の向きにして奥まで差し込みます。

B-CAS(ビーキャス)カードについて

● 付属のB-CASカードは地上デジタル放送の受信に必要です。常に本機に挿入しておいてください。
● B-CASカードについてのお問い合わせは、以下の窓口にお願いします。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター　TEL.0570-000-250

B-CASカード取扱上のご注意

● 裏面の金色端子部分に手を触れたり、よごしたり、衝撃を加えたり、折り曲げたり、傷つけたりしないでください。
● 使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなることがあります。
● B-CASカードを抜き差しするときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
● 正しい向きで挿入してください。間違えると、B-CASカードは機能しません。

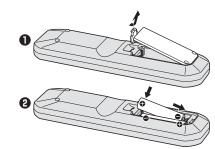
リモコンを準備する

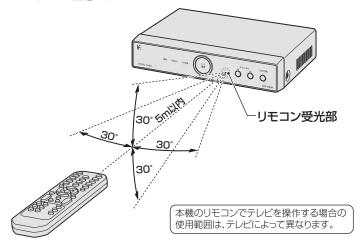
乾電池の入れかた

● 単四形乾電池R03またはLR03を2個ご使用ください。（ほかの種類の電池は使用しないでください）

❶ 乾電池カバーを取りはずします。

❷ 乾電池に表示された極性⊕⊖を確認して、乾電池を正しい向きに入れます。

※ 乾電池を入れたら、乾電池カバーを元どおりに取り付けます。

リモコンの使用範囲

● リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
● リモコン受光部に強い光を当てないでください。（強い光が当たっていると、リモコン操作を受け付けないことがあります）
● リモコン受光部とリモコンの間に障害物があると、動作しなかったり、動作しにくくなったりします。ご注意ください。

お願い

● 乾電池の寿命はご使用の度合によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら、2個とも新しい乾電池と交換してください。
● 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

リモコンを準備する つづき

リモコンの設定をする

● 本機のリモコンでテレビの基本的な操作(電源、選局、音量、入力切換、消音)をすることができます。以下の手順でリモコンの設定をしてください。

1 **リモコンの(決定)を押したままでテレビメーカーの番号(下表)のボタンを順に押し、(決定)から指を離す**

例:「東芝」の場合

(決定)を押したままで(1)、(1)、(1)の順に押し、(決定)から指を離す

2 **テレビを操作してみる**

● 本機のリモコンをテレビのリモコン受光部に向けて操作し、電源、選局、音量、入力切換、消音の操作ができるか、確認します。

● メーカーによっては複数の番号があります。テレビが操作できない場合は、別の番号で試してください。

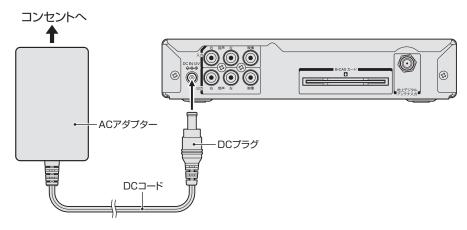
● テレビの操作ができれば設定は終了です。

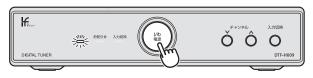
※ 本機のリモコンで操作できないテレビの場合は、テレビのリモコンをご使用ください。

メーカー	リモコンの種類							
	1	2	3	4	5	6	7	8
東芝	111							
ソニー	211	212	213	214	215	216		
パナソニック	311	312	313	314				
日立	411	412	413	414	415			
三菱	511	512	513	514	515			
日本ビクター	611	612	613	614				
三洋	711	712	713	714	715			
AIWA	811	812	813	814	815	816	817	818
シャープ	911	912	913					
FUNAI	121	122	123	124	125	126		
NEC	221	222	223					
富士通	321	322						
パイオニア	421							
その他	521	522	523	524	525	526	527	528
	621	622	623	624	625	626		

本機とテレビの電源を入れる

1 付属のACアダプターを接続する

本体背面の電源(DC IN12V)端子にDCプラグを接続してから、交流100Vのコンセントに差し込みます。
電源が「待機」になり、本体前面の電源表示が赤色に点灯します。

2 本機の電源を入れる

リモコンまたは本体の電源ボタンを押します。
電源が「入」になり、電源表示が緑色に点灯します。

※ リモコンまたは本体の電源ボタンをもう一度押すと、電源が「待機」になります。

3 テレビの電源を入れる

4 テレビの入力を切り換える

本機を接続したビデオ入力に切り換えます。

お知らせ

- 本機の電源を入れてからテレビの画面に映像が出るまでに少し時間がかかります。故障ではありませんので、そのままお待ちください。

チャンネルの自動設定をする

- 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを本機が自動的に調べて、受信チャンネルを設定します。
- 「地域選択」では、放送局の所在地(アンテナを向けている地域)を選択してください。

1 本機の電源を入れる

ご購入後、はじめて電源を入れたとき、右図の画面が表示されます。
実際の画面ではメニューの下に操作ガイドが表示されます。操作の参考にしてください。

地域選択
北海道 ►
帯広	札幌
釧路	函館
北見	室蘭
旭川	

2 ＜＞で地方を選び、決定を押す

例：「関東」を選択

地域選択
◄ 関東 ►
茨城	千葉
栃木	東京
群馬	神奈川
埼玉	

3 ∧∨＜＞で地域を選び、決定を押す

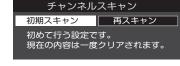
例：「埼玉」を選択

地域選択
関東
茨城	千葉
栃木	東京
群馬	神奈川
埼玉	

4 決定を押す

「初期スキャン」が選択されたままで決定を押してください。

チャンネルスキャン
初期スキャン　再スキャン
初めて行う設定です。
現在の内容は一度クリアされます。

チャンネルの初期スキャンが始まります。終わるまでに数分かかります。

5 チャンネルの自動設定結果を確認する

「リモコン」の欄の数字は、リモコンの数字ボタンの番号です。この例では、④に「日本テレビ」が登録されました。

地上D放送チャンネル設定

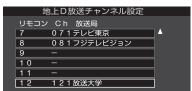
リモコン	Ch	放送局
1	011	NHK総合・東京
2	021	NHK教育・東京
3	031	テレ玉
4	041	日本テレビ
5	051	テレビ朝日
6	061	TBS

∨を繰り返し押せば12番までの設定結果を確認することができます。

地上D放送チャンネル設定

リモコン	Ch	放送局
7	071	テレビ東京
8	081	フジテレビジョン
9	–	
10	–	
11	–	
12	121	放送大学

6 確認が終わったらメニューを押す

メニュー画面が消えます。

お知らせ

- チャンネル自動設定は、入力された地域情報と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従って行われます。
- 自動設定される内容は、「地上デジタル放送一覧」p37～p39が目安となります。
- 自動設定をしても正しく受信できない場合は、「アンテナレベルの確認・アンテナの方向調整」p32をご覧ください。
- 自動設定をしても何も設定されなかった場合は、アンテナが正しく接続されていなかったり、アンテナ線がショートしていたりすることがあります。正しく接続してから、「チャンネル設定(自動)」p28で「初期スキャン」の操作をしてください。
- 設定した地域以外に引っ越した場合や、アンテナの方向を変えた場合、新たな放送局が開設された場合などは、「チャンネル設定(自動)」p28をご覧ください。
- 自動設定された内容を変更したい場合は、「チャンネル設定(手動)」p30をご覧ください。

チャンネルを選ぶ

- チャンネルを選ぶには以下の四つの方法があります。
- チャンネルを切り換えたときに、チャンネル情報(➡p24)が表示されます。

ダイレクト選局

1 **(1)～(12)を押す**

- 押した番号に対応した放送局のチャンネルに切り換わります。
- 一つの放送局で複数の番組を放送しているときには、その放送局の数字ボタンを繰り返し押します。

順次選局

1 **CH(∧)または CH(∨)を押す**

- 押すたびにチャンネルが順番に切り換わります。
- 本体のチャンネルボタンでも切り換えられます。

3桁選局

1 **3桁入力( )を押す**

画面の右上に番号入力欄が表示されます。

地デジ　- - -

2 **数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を入力する**

- 「0」は(10/0)で入力します。
- 例：「071」チャンネルを選局するとき
  (10/0)、(7)、(1)の順に押します。最後の数字を押した瞬間に選局されます。

チャンネルリストで選局

1 **CHリスト( )を押す**

チャンネルリスト画面が表示されます。

2 **(∧)(∨)で希望のチャンネルを選び、(決定)を押す**

選択したチャンネルの画面が表示されます。

地上デジタル　チャンネルリスト

リモコン	Ch	放送局	番組名
1	011	NHK総合・東京	番組情報がありません
2	021	NHK教育・東京	みんなのうた
3	031	テレ玉	カラオケ1ばん
4	041	日本テレビ	情報ライブ
5	051	テレビ朝日	東京地検の女
6	061	TBS	2時っチャオ
7	071	テレビ東京	番組情報がありません
8	081	フジテレビジョン	番組情報がありません
9	091	TOKYO MX	MXショッピング

＝チャンネル情報一括取得＝

CHリスト( )を1秒以上押し続けると、12ポジションのチャンネルリスト情報が1分程度で一括取得できます。情報取得中はお知らせ表示が点滅し、音声が消えます。終了するまで音声が出ませんが、故障ではありません。中止するときは戻る( )を押してください。

お知らせ

- チャンネルリスト画面の表示中にもう一度CHリスト( )を押すと、番組表が表示されます。

機能を使う

チャンネルリスト表示

- 前ページの「チャンネル情報一括取得」の操作をすると、現在の番組情報の一覧が表示されます。
- 表示からカーソルで番組を選ぶか、ダイレクト選局でチャンネルを選んでください。
- 「チャンネル情報一括取得」での情報取得中に見たい番組があるときは、情報取得中に（戻る）を押してください。

画面モードを切り換える

- 視聴している番組に適した画面モードに切り換えます。

1 （画面サイズ）を押す

- （画面サイズ）を押すたびに、**ノーマル→4:3レターボックス→4:3パンスキャン**の順番で切り換わります。
- 標準テレビ（横縦比4:3）と接続しているときは、下の図を参考にして「4:3レターボックス」または「4:3パンスキャン」を選んでください。
- ワイドテレビと接続しているときは「ノーマル」を選び、テレビに画面モードの切換機能がある場合はテレビ側を16:9の表示モード（例：フル）にしてください。

標準テレビでの画面モードの切り換わりかた

元の映像	ノーマル	4:3レターボックス	4:3パンスキャン
左右に黒帯のある16:9の放送	正しく表示されません（左右が縮みます）	周囲が黒く表示されます	画面いっぱいに拡大表示されます
16:9の放送	正しく表示されません（左右が縮みます）	上下が黒く表示されます	左右の映像が画面の外に隠れます

機能を使う つづき

チャンネル情報を表示させる

1 画面表示 ◯ を押す

- チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。
- 番組情報が取得できていないときは、それらの内容が表示されません。

（例）

上の図の表示はしばらくすると消えて、下図の表示に変わります。

（例）

1　地デジ　0 1 1　AM　1 1 : 3 9

2 表示を消すには、画面表示 ◯ を押す

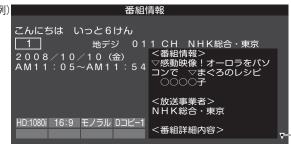
アイコンの表示内容について

- 番組名の下に表示されるアイコンの内容は以下のとおりです。

HD:1080i ････1080i形式のハイビジョン番組（本機の出力は標準画質になります）
SD:480i･････････480i形式の標準画質の番組
16:9･･･････････････画面の横と縦の比（アスペクト比）が16:9の番組
4:3･････････････････画面の横と縦の比（アスペクト比）が4:3の番組
モノラル･････････モノラル音声番組
ステレオ･････････ステレオ音声番組
Dコピー１･･･････コピーが1回だけ可能な番組（本機は録画機ではないので、コピー機能はありません）
字幕･･･････････････字幕放送の番組
二重音声･････････副音声付放送や二か国語放送の番組

番組情報を見る

1 番組説明 ◯ を押す

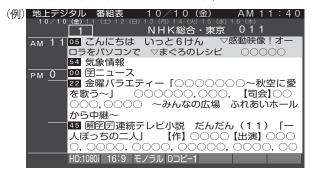
- 番組名、チャンネル番号、放送局名、放送時間、番組情報などが表示されます。
- 番組情報が取得できていないときは内容が表示されません。

（例）
続きがあるとき表示されます。

番組情報に続きがあるときは、∨を押せば表示されます。（戻るときは∧）

2 番組情報の画面を消すには、戻る または 番組説明 ◯ を押す

番組表を見る

1 番組表 ◯ を押す

- 視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。
- 番組情報が取得できていないときは内容が表示されません。その場合には、決定を押して情報を取得します。（表示されるまでに時間がかかったり、情報が取得できなかったりすることがあります）

（例）
ほかの時間帯

ほかのチャンネル

- 最大で6日先までの放送予定が確認できます。

2 番組表を消すには、戻る または 番組表 ◯ を押す

番組を見る

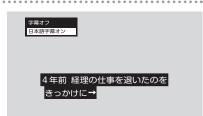
機能を使う

機能を使う つづき

字幕を表示させる

● 字幕放送番組のときに、字幕の表示・非表示を切り換えることができます。

1 字幕 ◯ **を押す**

字幕 ◯ を押すたびに字幕の表示・非表示が切り換わります。
「字幕オン」にすると、右図の例のように字幕が表示されます。

映像を切り換える

● 番組の中に複数の映像が含まれているとき（マルチビュー放送のとき）、映像を切り換えることができます。

1 映像切換 ◯ **を押す**

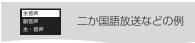
映像切換 ◯ を押すたびに映像が切り換わります。

音声を切り換える

● 音声多重放送番組のときに、音声を切り換えることができます。

1 音声切換 ◯ **を押す**

音声切換 ◯ を押すたびに別の音声に切り換わります。

二か国語放送などの例

音声 1
音声 2

副音声付放送などの例

外部入力に切り換える

● 外部入力端子に接続した機器（ビデオ、ゲーム機など）と本機の映像を切り換えることができます。

1 入力切換 ◯ **を押す**

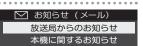
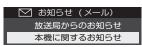
外部機器の映像に切り換わります。
もう一度押すと本機の映像に切り換わります。

お知らせを確認する

● 放送局からのお知らせや、本機が発行したお知らせの内容を確認することができます。
● お知らせがあると、本機前面のお知らせ表示が点灯します。

1 メニュー を押す

2 ∧∨で「お知らせ」を選んで 決定 を押す

3 お知らせの種類を ∧∨ で選び、決定 を押す

4 確認したいお知らせを ∧∨ で選び、決定 を押す

本機に関するお知らせ
1
2
3
4
5
6

5 内容を確認したら、メニュー を押す

通常の画面に戻ります。

お知らせ

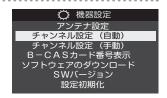
● 放送局からのお知らせは10件まで、本機に関するお知らせは6件まで保存されます。
これを超えた場合は、古いものから順に削除されます。

チャンネル設定(自動)

● 引っ越しなどで受信地域が変わった場合や、アンテナの方向を調整し直した場合、放送局がふえた場合などに、受信チャンネルを設定し直すことができます。

1 を押す

2 で「機器設定」を選び、決定を押す

3 で「チャンネル設定(自動)」を選び、決定を押す

4 で地方を選び、決定を押す

例：「関東」を選択

5 で地域を選び、決定を押す

例：「埼玉」を選択

地域選択

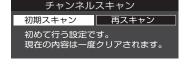
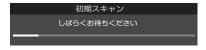
関東

茨城	千葉
栃木	東京
群馬	神奈川
埼玉	

6 で「初期スキャン」または「再スキャン」を選び、決定を押す

「初期スキャン」
- 引っ越しなどで受信地域が変わったとき
- アンテナを異なる地域に向けたとき
- 自動設定をやり直したいとき
- 本機の設定を初期化したとき

「再スキャン」
- 新しい放送局が開設されたとき

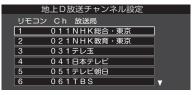
チャンネルスキャンが始まります。終わるまでに数分かかります。

7 チャンネルの自動設定結果を確認する

「リモコン」の欄の数字は、リモコンの数字ボタンの番号です。

地上D放送チャンネル設定		
リモコン	Ch	放送局
1	011	NHK総合・東京
2	021	NHK教育・東京
3	031	テレ玉
4	041	日本テレビ
5	051	テレビ朝日
6	061	TBS

〈V〉を繰り返し押せば12番までの設定結果を確認することができます。

地上D放送チャンネル設定		
リモコン	Ch	放送局
7	071	テレビ東京
8	081	フジテレビジョン
9	－	
10	－	
11	－	
12	121	放送大学

8 確認が終わったら（メニュー）を押す

メニュー画面が消えます。

お知らせ

- 「初期スキャン」の場合、以前のチャンネル設定の内容は消去されます。
- 「再スキャン」の場合、受信できるチャンネルが更新されます。手動設定をしていた場合、その内容は消去されます。

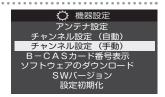
チャンネル設定(手動)

● 自動設定された内容を手動で変えることができます。

リモコンボタンの割当てを変えるとき

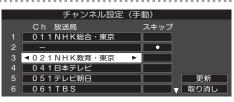
1 メニュー を押す

2 ∧∨で「機器設定」を選び、決定を押す

3 ∧∨で「チャンネル設定(手動)」を選び、決定を押す

4 設定を変えたいリモコンボタンの放送局を∧∨で選び、決定を押す

例：3番の放送局を選択

5 選択中の番号のボタンで選局したい放送局を<>で選び、決定を押す

例：3番にNHK教育を割り当てる
NHK教育が割り当てられていた2番は設定がクリアされます。

6 ∧∨<>で「更新」を選び、決定を押す

更新後、メニュー画面が消えます。

お知らせ

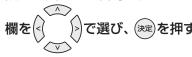
- ほかにも設定する場合は手順*4*と*5*を繰り返してください。(例：クリアされた2番に「テレ玉」を設定すれば、2番と3番のボタン割当を入れ替えたことになります)
- 自動設定されなかった放送局を割り当てることはできません。

チャンネルスキップの設定をするとき

- CH(∧)やCH(∨)および本体のチャンネルボタンでの選局時にスキップする（選局されないようにする）チャンネルを設定することができます。
- 自動設定で放送局が割り当てられなかった番号は、自動的にスキップするように設定されています。

1 前ページの手順 *1*～*3* の操作をする

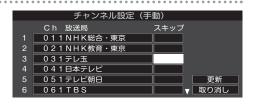
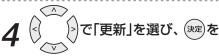
2 設定を変えたい番号の「スキップ」欄を

で選び、(決定)を押す

例：3番の「スキップ」欄を選択

3

でスキップ設定を変更し、(決定)を押す

「スキップする」　：「●」
「スキップしない」：「　」

4

で「更新」を選び、(決定)を押す

更新後、メニュー画面が消えます。

チャンネル設定（手動）

Ch	放送局	スキップ
1	011NHK総合・東京	
2	021NHK教育・東京	
3	031テレ玉	●
4	041日本テレビ	
5	051テレビ朝日	
6	061TBS	

更新　取り消し

お知らせ

- スキップするように設定したチャンネルでも、リモコンの数字ボタンを押したときには選局されます。

メニュー操作

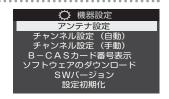
チャンネル設定（手動）

アンテナレベルの確認・アンテナの方向調整

- チャンネル設定(➡p20、➡p28)をしても正常に受信できなかった場合などに、アンテナレベルを確認することができます。
- アンテナレベルの数値が目安以下の場合には、お近くの電気店などにご相談のうえアンテナの方向調整をしてください。

1 アンテナレベルを確認したいチャンネルを選局し、メニューを押す

2 ∧∨で「機器設定」を選び、決定を押す

3 ∧∨で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

4 アンテナレベルを確認する

アンテナレベルの目安は50以上です

アンテナレベルの数値が最大になるように、アンテナの方向を調整します。

（例）

※ <>を押せば、他の伝送チャンネルのアンテナレベルを確認することができます。
※ 隣接地域の放送が受信できる場合、そのアンテナレベルが高くなるようにアンテナ方向を調整すると、お住まいの地域のチャンネルのアンテナレベルが低くなることがありますので、ご注意ください。

5 終わったらメニューを押す

メニュー画面が消えます。

お知らせ

- 「アンテナ設定」はアンテナの方向調整を目的とした機能です。アンテナレベルの数値は受信CN比の換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。
- 「伝送チャンネル」は地上デジタル放送に使用されるUHF電波のチャンネルです。お住まいの地域（アンテナを向けた地域）の伝送チャンネルが不明のときは、お近くの電気店などにお問い合わせください。

表示設定

字幕設定

● 字幕の表示・非表示の設定ができます。(字幕)での切換と同じです。

1 (メニュー)を押す

2 で「表示設定」を選び、(決定)を押す

3 で「字幕設定」を選び、(決定)を押す

4 で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、(決定)を押す

5 終わったら(メニュー)を押す

メニュー画面が消えます。

文字スーパー表示設定

● デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などが画面に表示されます。

1 上記「字幕設定」の手順*1*～*2*の操作をする

2 で「文字スーパー表示設定」を選び、(決定)を押す

3 で「表示する」または「表示しない」を選び、(決定)を押す

[表示する]
[表示しない]

4 終わったら(メニュー)を押す

メニュー画面が消えます。

その他の設定・確認

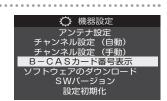
B-CASカード番号表示

● 本機に挿入されているB-CASカードの番号を確認することができます。

1 メニュー を押す

2 上下ボタンで「機器設定」を選び、決定 を押す

3 上下ボタンで「B-CASカード番号表示」を選び、決定 を押す

4 内容を確認し、終わったら メニュー を押す

B－CASカード番号表示

カード種別	：XXXX
カードID	：XXXX－XXXX－XXXX－XXXX－XXXX
グループID	：X

SWバージョン

● 本機内部のソフトウェアのバージョンを確認することができます。

1 上記「B-CASカード番号表示」の手順*1*～*2*の操作をする

2 上下ボタンで「SWバージョン」を選び、決定 を押す

3 内容を確認し、終わったら メニュー を押す

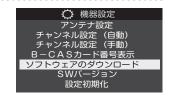
SWバージョン

バージョン　：XXX－XXXX－XXX－XXXX

ソフトウェアのダウンロード

● 放送電波で送られてくる本機のソフトウェアをダウンロードして、自動的に更新する機能です。

1 前ページ「B-CASカード番号表示」の手順*1*～*2*の操作をする

2 (∧∨)で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、(決定)を押す

3 (∧∨)で「自動更新する」または「自動更新しない」を選び、(決定)を押す

下の「お知らせ」をご覧ください。

自動更新する
自動更新しない

4 終わったら(メニュー)を押して、メニューを消す

お知らせ

- ダウンロードがある場合は、そのことをお知らせするメールが本機に送信されてきます。「お知らせを確認する」▶p27の手順でメールの内容をご確認ください。
- **「自動更新する」に設定した場合**
  - ダウンロードの予告を本機が受信すると、待機状態にしたときに「電源」表示がオレンジ色に点灯し、ダウンロードの開始待ちになります。
  - ダウンロードを実行するには、本機を待機状態にしておく必要があります。もし、番組を見たい場合は電源を入れてください。通常と同じように番組を視聴できますが、その場合にはダウンロードは行われません。
  - ダウンロードを開始した場合には、右の二つのメッセージが表示され、約30分間程度リモコン操作ができなくなります。
  - ダウンロードが終了すると本機にメールが送信され、自動的に電源が切れます。
  - ソフトウェアのダウンロード後は、最後に見ていた番組と違うチャンネルになることがありますが、故障ではありません。視聴したい番組を選択してください。

ソフトウェアのダウンロード準備中です。

電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりしないでください。

ソフトウェアのダウンロード中です。

ダウンロード中は、電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりしないでください。
ソフトウェアの書き込みが中断され、本機が正常に動作しなくなる場合があります。

- **「自動更新しない」に設定した場合**
  お客様の任意で選択できるソフトウェアの自動更新は行われません。

※ 機器サービスや放送運用上必要なソフトウェア更新の場合は、この設定に関係なく待機時にダウンロードが実行されます。

その他の設定・確認 つづき

設定初期化

- すべての設定を初期化して、お買い上げ時の状態(工場出荷時の状態)に戻すことができます。
- ソフトウェアのバージョンは元には戻りません。

1 前ページ「B-CASカード番号表示」の手順*1*～*2*の操作をする

2 [∧∨]で「設定初期化」を選び、[決定]を押す

3 初期化する場合は[<][>]で「はい」を選び、[決定]を押す

初期化の処理が始まり、終わると手順*2*の画面に戻ります。

設定初期化
全ての設定を工場出荷時の状態に戻しますか?
はい　いいえ

4 [メニュー]を押す

メニュー画面が消えて、右図のメッセージが表示されます。

チャンネルが設定されていません

地上デジタル放送一覧

- 下表は地域別地上デジタル放送一覧です。
- 「都道府県名」「地域名」は放送局の所在地を示しています。アンテナの方向によっては、お住まいの地域と異なる地域の放送を受信できることもありますので、チャンネル設定結果で表示される放送局名をご確認ください。
- 「番号」は、「初期スキャン」や「再スキャン」をしたときに設定されるリモコンボタンの番号を表しています。

都道府県名 地域名	番号	放送局名
(北海道) 北見	1	HBC北見
	2	NHK教育・北見
	3	NHK総合・北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	7	TVH北見
	8	UHB北見
(北海道) 旭川	1	HBC旭川
	2	NHK教育・旭川
	3	NHK総合・旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	7	TVH旭川
	8	UHB旭川
(北海道) 釧路	1	HBC釧路
	2	NHK教育・釧路
	3	NHK総合・釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	7	TVH釧路
	8	UHB釧路
(北海道) 帯広	1	HBC帯広
	2	NHK教育・帯広
	3	NHK総合・帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	7	TVH帯広
	8	UHB帯広
(北海道) 札幌	1	HBC札幌
	2	NHK教育・札幌
	3	NHK総合・札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	7	TVH札幌
	8	UHB札幌
(北海道) 室蘭	1	HBC室蘭
	2	NHK教育・室蘭
	3	NHK総合・室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	7	TVH室蘭
	8	UHB室蘭

都道府県名 地域名	番号	放送局名
(北海道) 函館	1	HBC函館
	2	NHK教育・函館
	3	NHK総合・函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	7	TVH函館
	8	UHB函館
青 森	1	RAB青森放送
	2	NHK教育・青森
	3	NHK総合・青森
	5	青森朝日放送
	6	ATV青森テレビ
岩 手	1	NHK総合・盛岡
	2	NHK教育・盛岡
	4	テレビ岩手
	5	岩手朝日テレビ
	6	IBCテレビ
	8	めんこいテレビ
宮 城	1	TBCテレビ
	2	NHK教育・仙台
	3	NHK総合・仙台
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
	8	仙台放送
秋 田	1	NHK総合・秋田
	2	NHK教育・秋田
	4	ABS秋田放送
	5	AAB秋田朝日放送
	8	AKT秋田テレビ
山 形	1	NHK総合・山形
	2	NHK教育・山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福 島	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・福島
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
	8	福島テレビ

都道府県名 地域名	番号	放送局名
茨 城	1	NHK総合・水戸
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
栃 木	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	とちぎテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
群 馬	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	群馬テレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
埼 玉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	テレ玉
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学

地上デジタル放送一覧 つづき

都道府県名 地域名	番号	放送局名
千葉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	チバテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	9	TOKYO MX
	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	tvk
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
新潟	1	NHK総合・新潟
	2	NHK教育・新潟
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
	6	BSN
	8	NST
山梨	1	NHK総合・甲府
	2	NHK教育・甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
長野	1	NHK総合・長野
	2	NHK教育・長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送
富山	1	KNB北日本放送
	2	NHK教育・富山
	3	NHK総合・富山
	6	チューリップテレビ
	8	BBT富山テレビ

都道府県名 地域名	番号	放送局名
石川	1	NHK総合・金沢
	2	NHK教育・金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ
福井	1	NHK総合・福井
	2	NHK教育・福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
静岡	1	NHK総合・静岡
	2	NHK教育・静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
	6	SBS
	8	テレビ静岡
愛知	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・名古屋
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	10	テレビ愛知
三重	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・津
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	7	三重テレビ
岐阜	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・岐阜
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
	8	岐阜テレビ
滋賀	1	NHK総合・大津
	2	NHK教育・大阪
	3	BBCびわ湖放送
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ

都道府県名 地域名	番号	放送局名
京都	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	5	KBS京都
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
大阪	1	NHK総合・大阪
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	7	テレビ大阪
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
兵庫	1	NHK総合・神戸
	2	NHK教育・大阪
	3	サンテレビ
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
奈良	1	NHK総合・奈良
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	9	奈良テレビ
	10	読売テレビ
和歌山	1	NHK総合・和歌山
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	5	テレビ和歌山
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
鳥取	1	日本海テレビ
	2	NHK教育・鳥取
	3	NHK総合・鳥取
	6	BSSテレビ
	8	山陰中央テレビ
島根	1	日本海テレビ
	2	NHK教育・松江
	3	NHK総合・松江
	6	BSSテレビ
	8	山陰中央テレビ

都道府県名 地域名	番号	放送局名
岡山	1	NHK総合・岡山
	2	NHK教育・岡山
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
広島	1	NHK総合・広島
	2	NHK教育・広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
山口	1	NHK総合・山口
	2	NHK教育・山口
	3	tysテレビ山口
	4	KRY山口放送
	5	yab山口朝日
徳島	1	四国放送
	2	NHK教育・徳島
	3	NHK総合・徳島
香川	1	NHK総合・高松
	2	NHK教育・高松
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
愛媛	1	NHK総合・松山
	2	NHK教育・松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
高知	1	NHK総合・高知
	2	NHK教育・高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	1	KBC九州朝日放送
	2	NHK教育・福岡 NHK教育・北九州
	3	NHK総合・福岡 NHK総合・北九州
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本

都道府県名 地域名	番号	放送局名
佐賀	1	NHK総合・佐賀
	2	NHK教育・佐賀
	3	STSサガテレビ
長崎	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・長崎
	3	NBC長崎放送
	4	NIB長崎国際テレビ
	5	NCC長崎文化放送
	8	KTNテレビ長崎
熊本	1	NHK総合・熊本
	2	NHK教育・熊本
	3	RKK熊本放送
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
	8	TKUテレビ熊本
大分	1	NHK総合・大分
	2	NHK教育・大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
宮崎	1	NHK総合・宮崎
	2	NHK教育・宮崎
	3	UMKテレビ宮崎
	6	MRT宮崎放送
鹿児島	1	MBC南日本放送
	2	NHK教育・鹿児島
	3	NHK総合・鹿児島
	4	KYT鹿児島読売TV
	5	KKB鹿児島放送
	8	KTS鹿児島テレビ
沖縄	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・那覇
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ(OTV)

お知らせ

- 「福岡」の「2」と「3」は、「初期スキャン」や「再スキャン」の際に、アンテナレベルの高いほうの放送がリモコンボタンに設定されます。(これは、放送の運用規定によるものです)

困ったときには…

● ACアダプターがつながっていなかったり、アンテナに異常があったりすると本機の故障と間違えることがあります。修理をご依頼の前に以下のことをお調べください。

このようなとき	確認すること	対処のしかた
電源がはいらない	電源表示が赤色に点灯していますか。	電源表示が点灯していないときは、ACアダプターの接続を確認してください。
電源を入れてもすぐに映像が表示されない		本機が動作するまでの準備中です。そのままお待ちください。
地上デジタル放送が受信できない	チャンネル設定(➡p20 または ➡p28)をしましたか。	チャンネル設定をしないと地上デジタル放送は映りません。
	「アンテナレベル」➡p32 を確認してください。	アンテナレベルが目安よりも小さい場合は、アンテナの接続や方向を確認してください。
映像が出ない	本機やテレビの電源がはいっていますか。	本機やテレビの電源を入れてください。
	テレビの入力切換は合っていますか。	本機を接続した入力を選んでください。
	本機とアンテナおよびテレビとの接続は正しいですか。	接続を確認してください。
音声が出ない	テレビの音量が下げられていませんか、または「消音」になっていませんか。	テレビの音量を上げてください。または、「消音」を解除してください。
リモコンの操作ができない	乾電池の向き(極性⊕⊖)が違っていませんか。	リモコンの極性表示に合わせて、乾電池を正しい向きに入れてください。
	本体のリモコン受光部に向けて操作していますか。	リモコン受光部に向けてください。
	障害物はありませんか。	リモコンと本体の間の障害物を取り除いてください。
	乾電池が消耗しているかもしれません。	2個とも新しい乾電池に交換してください。
映像が乱れる	「アンテナレベル」➡p32 を確認してください。	アンテナレベルが目安よりも小さい場合は、アンテナの接続や方向を確認してください。
チャンネル番号などの表示が消えない	画面表示 ◯ で表示させませんでしたか。	もう一度 画面表示 ◯ を押せば表示が消えます。

このようなとき	確認すること	対処のしかた
字幕が表示されない	字幕放送番組ですか。	番組が字幕放送でないときは、字幕を押しても字幕は表示されません。
映像切換ができない	マルチ映像の番組ですか。	番組がマルチ映像の放送でないときは、映像切換を押しても映像は変わりません。
音声切換ができない	二重音声(副音声、二か国語など)の番組ですか。	番組が二重音声放送でないときは、音声切換を押しても音声は変わりません。
「お知らせ表示灯」が点滅している	本機がソフトウェアをダウンロード(読込み)している途中です。	
すべてのボタン操作ができない	本体、リモコンともに操作できませんか。	本機の電源を切ってACアダプターをコンセントから抜き、約10秒間待ってから差し込んでみてください。

仕 様

品　名	地上デジタルチューナー
形　名	DTF-H009
電　源	付属ACアダプター(形名 EADP-18SB BC)を使用 AC 100V　50/60Hz
消費電力	電源「入」時：8.0W、電源「OFF」時：6.0W
本体外形寸法	210(幅)×42(高さ)×135(奥行)　mm
本体質量(重量)	約750g
使用温度範囲	0 ～ +35℃
使用相対湿度範囲	20 ～ 80%（結露のないこと）
受信放送	地上デジタル放送
受信周波数	90 ～ 770MHz(CATVパススルー対応)
受信レベル	−75 ～−20dB(mW)
アンテナ入力端子	ねじ式F型コネクター対応　75Ω
映像出力端子	ピンジャック　1V(p-p)、75Ω、同期負
音声出力端子	ピンジャック(右・左)　250mV(rms)、1kΩ
映像入力端子	ピンジャック　1V(p-p)、75Ω、同期負
音声入力端子	ピンジャック(右・左)　250mV(rms)、22kΩ以上
おもな付属品	• ACアダプター…………………… 1個 • リモコン ………………………… 1個 • リモコン用乾電池……………… 2個 • 映像・音声用コード…………… 1本 • 取扱説明書(本書)……………… 1冊 • B-CASカード…………………… 1枚

● 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良などのため予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式や電源電圧が異なるため使用できません。

地上デジタル放送について

● **地上デジタルテレビ放送とは？**

地上波のUHF帯を使用したデジタルテレビジョン放送のことです。（本書では、「地上デジタル放送」、「地デジ」と記載しています）

現在のアナログ方式の地上放送は、今後この地上デジタル放送に変わっていきます。

● **地上デジタル放送の特長**

これまでの地上アナログ放送に比べて以下の利点があります。

(1) デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送

(2) CD並の高音質放送（MPEG-2 AAC方式）（本機の出力はアナログ音声信号です）

(3) ゴーストのない鮮明な映像

(4) データ放送や双方向サービス（本機では対応していません）

通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送があります。また、電話回線などを使った双方向サービスによるオンラインショッピングや、視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。

(5) 固定・移動受信向けサービスと携帯受信向け部分受信サービス

ご家庭や移動中の車などに向けた固定・移動受信サービスと、携帯電話などで受信できる部分受信サービス（ワンセグ）があります。

※本機は部分受信サービス（ワンセグ）は受信できません。

● **BSデジタル放送や110度CSデジタル放送との違いは？**

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送は衛星を使った放送であり、日本全国どこでも同じ番組を楽しめます。

地上デジタル放送は各地域の放送局から送信されます。地域に密着した放送・番組が多く提供される予定です。

● **地上デジタル放送を受信するには**

本機のほかに、ビデオ入力端子を備えたテレビまたはモニター受像機、および地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。（ほかに、混合器や分波器が必要な場合もあります）

アナログ放送からデジタル放送への移行について

● **デジタル放送への移行スケジュール**

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

ソフトウェアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。

ホームページアドレス　http://www.trywin.co.jp

また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本製品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"(現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント　原文(英文)

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel	Exhibit A
DirectFB	Exhibit B

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
   In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
   a) Accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,
   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.
   For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance

of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>,1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License,
version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less

to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.

In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
   A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.
   The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
   "Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defi ned independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)
   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.
   In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.
   Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
   This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.
4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
   If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
   However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..
   When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defi ned by law.
   If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)
   Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.
6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
   You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
   a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
   b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified

version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License.

If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

保証とアフターサービス

保証期間について

保証期間：お買い上げ日から1年間です。
B-CASカードは保証対象外です。

補修用性能部品の保有期間

- 本商品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理をご依頼のとき

- 「困ったときには…」➡p40に従ってご確認のうえ、なお異常があるときには管理者にご相談ください。

■ **保証期間中**

保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

■ **保証期間を過ぎているとき**

管理者にご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望によって有料で修理をさせていただきます。

長年ご使用のチューナーの点検を！

愛情点検

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化します。
そのままご使用になると、故障や火災の原因となることがあります。

このような症状はありませんか?	●映像や音が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物がはいった。 ●ACアダプターやコードにひび割れがある。	使用中止	このような場合、故障や事故防止のため、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、必ず管理者にご相談ください。

地上デジタル放送受信チューナー保証書

持込修理

<table>
<tr><td colspan="3">形名</td></tr>
<tr><td rowspan="3">★お客様</td><td>お名前</td><td>ふりがな
様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td>〒□□□-□□□□</td></tr>
<tr><td>電話</td><td></td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td>本体</td><td>1年　★お買い上げ日 　年　月　日から</td></tr>
<tr><td>★ご販売店</td><td colspan="2">住所・店名
電話</td></tr>
</table>

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは裏面のページをご覧ください。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので、紛失しないようにたいせつに保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 誤ったご使用や不当な修理･改造で生じた故障･損傷。
   (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障･損傷。
   (ハ) 火災、天災地変(地震、風水害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障･損傷。
   (ニ) 本書のご提示がない場合。
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   (ヘ) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障･損傷。
   (ト) ご使用によるよごれ、キズ。
   (チ) 塗装面およびメッキ部の摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
5. 本書は日本国内でのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本商品の使用または使用不能による付随的な損害に関しては、保証･補償いたしかねます。詳しくは取扱説明書をご確認ください。
7. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理のご依頼ができない場合には、下記の**〈修理･お問い合わせ窓口〉**にご相談ください。

修理メモ 修理年月日	修　理　内　容	担当
年　月　日		
年　月　日		

<個人情報の取扱いについて>

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所･氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

販売元:株式会社トライウイン

〈修理･お問い合わせ窓口〉
トライウイン･サポートセンター
〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-677
TEL:(0570)-030-100　E-mail: support@trywin.co.jp
受付時間:月曜日～金曜日(祝日および当社の休日を除く)
午前10:00～午後6:00